

令和元年七月一日発行（毎月一回）  
書象 第六十七巻 第七号 通巻七六四号

書象

日本書道芸術協会  
SHO JAPAN  
設立1951年  
代表理事 藤原 正典  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
電話 03-5561-1111  
FAX 03-5561-1112  
E-MAIL sho@sho-japan.com



日本書道芸術協会

2019-7

巻頭言

―日展―

錬度高い作品をめざして

理事長代行 内藤望山



第47回書象展 上條信山先生書「温故」

今年の日展指導は読売書法展と同時に始められている。これは本部展覧会部の呼びかけによるもので、大変効果的な運営と思われる。二つの書展制作は大変厳しそうに思えるが、日展制作を少しでも早くから取りかかるとは何より肝要と思われる。

日展は最高水準の書展である。それだけに時間をかけて存分な制作活動を深めなければならぬ。どのような古典を背景において、イメージアップするか、字形の特異性、大小のバランス、線質の強さ、深さを出すためにどのような用具用材を準備するか、幾つかの原案から出品候補を決定して本格的な制作活動に入るのであるが、これが大変である。行の字数、文字の大小長短、含墨の箇所、太さや大きさに変化を加える度に作風は一変する。

現代の書展では、比較的濃墨使用者が多く、太めの線表現と強靱な圧度作が多い。一字一字の形体把握は入念にして安定した表現でありたい。審査に当たってはこの文字表現についての指摘がある。特に崩し字は曖昧にしないで、書道字典を参考に正しく表記する必要がある。これはどの書展でも言えることだ。

日展は応募点数が一番多い書展である。その審査は年にもよるが十日近くも続けて行われる。終了まで七回、八回と繰り返し審査され、指定の入選点数に絞込まれていく。最後まで残るのは並大抵ではない。錬度高く、しかも高度な表現技術を有した個性的な作品群ばかりである。書き手の魂が封じ込まれ、その書のエネルギーが沸々と湧き出てくるような作品である。そのような充実した作品を理想として励んで欲しいものである。

いつ傑作が生まれるかわからない。自分自身が文字となって一気呵成に躍動して紙面定着させて下さい。

※九月十六日（月・祝）の作品提出日まで、夏合宿（八月三十一日～九月二日）をはさんで、練習期間があります。是非、錬度高く充実した作品をめざして取り組んでください。



銷魂若を奈何せん

7月20日必着。入選作のみ発表します。出品券を貼付

楷書臨書規定【臨規】

(師範・準師範・段位)

化度寺碑

上條信山先生書



・文字の概形や偏と旁の関係をつかみたい。  
 ・たて画の背勢が形を引き締める。横画は右上り、そして平行に。空間のとり方にも留意したい。

鑿踈朗。豁然開

7月20日必着  
出品券を貼付





・横画、縦画、左右の  
払いで組み立てられ  
ている。スピード感  
のある直線的な線を  
心がけたい。

伏：ニンベンを小さく  
縦長にし、傍の左  
右の払いをのびの  
びと。

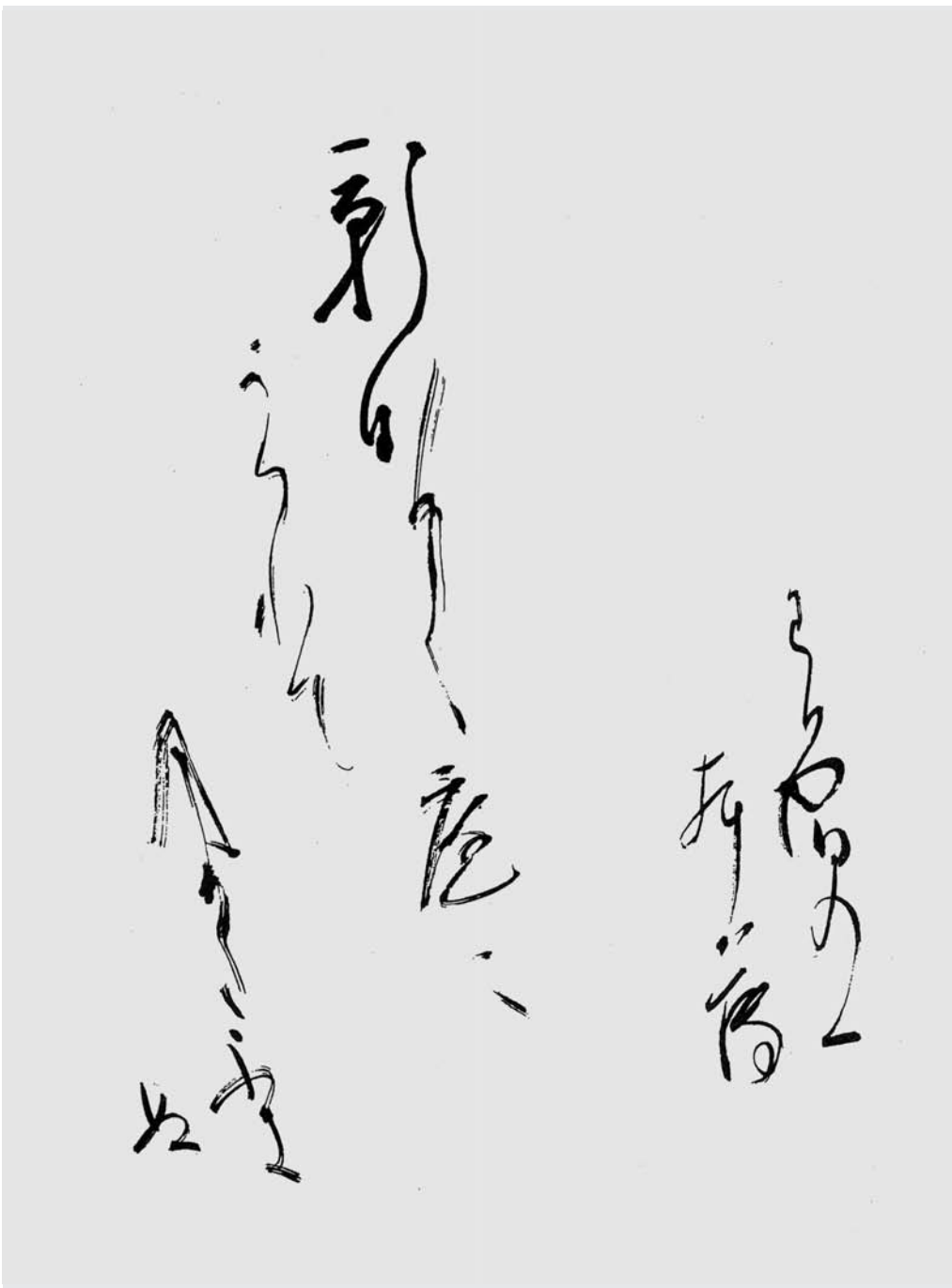


膺：横画を少し細目に  
して方向を右上り  
に統一させる。文  
字中の空間が狭く  
ならないように注  
意する。



仮名規定【仮規】（師範・準師範・段位）

上條 信山 先生 書



わ(主)が(可)宿の一本薄影な(那)が(可)く  
庭に(二)うつり(利)て月か(可)た(多)ぶき(支)ぬ

(高崎正風)

7月20日必着  
出品券を貼付

・縦に流れるリズムと  
大胆な動きが明るい  
表現を作っている。  
部分練習をしてのび  
やかな動きを扱えた  
い。

【宿】

宿

【薄】

薄

【庭】

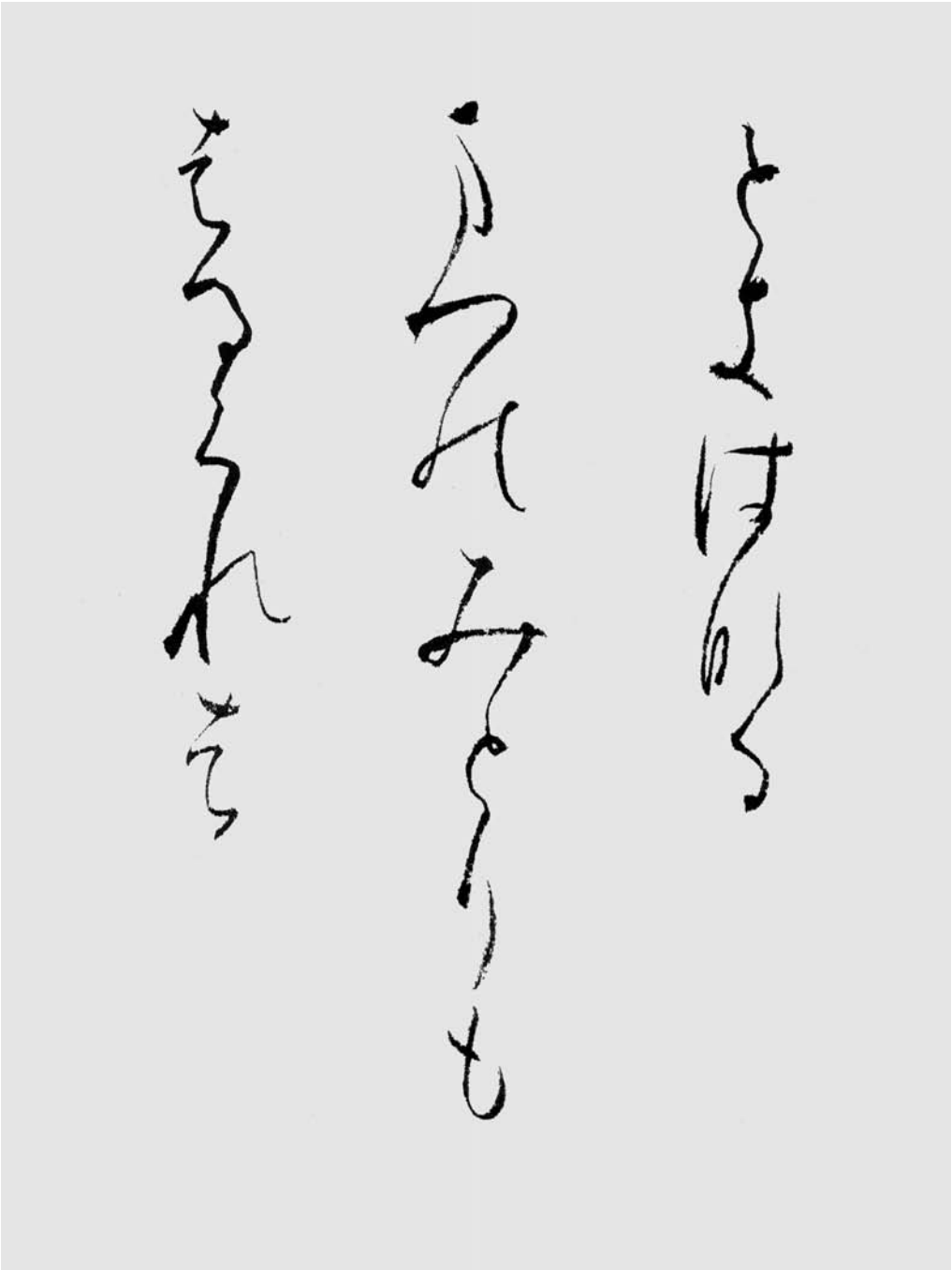
庭

「か(可)た(多)ふ  
き(支)」

わ  
庭

仮名規定【仮規】（級位）

上條信山先生書



とき(支)はな(那)るま(万)つの(能)みとりも  
 は(者)るくれは(者)

・文字の形をしつかりと把握した上で、三字、四字連綿を一氣に書きあげる。

「とき(支)」



「な(那)る」



「ま(万)つの(能)」



「は(者)るくれ」



研究【研究】 「張猛龍碑」 臨書

釈文 (学) 建ち礼脩おさまり、風教は (正に) 反る。



山口啓山先生書



令和(集字)

田中節山先生書



今月のポイント 逆筆を強く当てる。字中の空間、傾きに留意したい。

※どちらか一体を出品してください。



7月20日必着

出品券を貼付

入選作のみ発表します



飛泉碧峰に挂るかかる（李白）

- ・飛―下部の左右に拡がる線は強くのびやかに。
- ・泉―下部を「水」にする隷書体もあるが、ここでは画数の少ない隷体。
- ・挂と碧は水平・平行・等間隔を保つ。
- ・峰―偏と旁の高さを上にそろえる。縦画は長めに。

条幅随意【条随】

上條信山先生書

入選作のみ発表します

出品券を貼付



朝顔は（ハ）わが（可）ありし（志）日の姿より少し（志）さびしく水色に（二）さ（佐）く

（与謝野晶子のうた）

・「朝顔」「少し（志）」「水色」はP14参照。

大青  
大志

中学一年規定 【学毛】

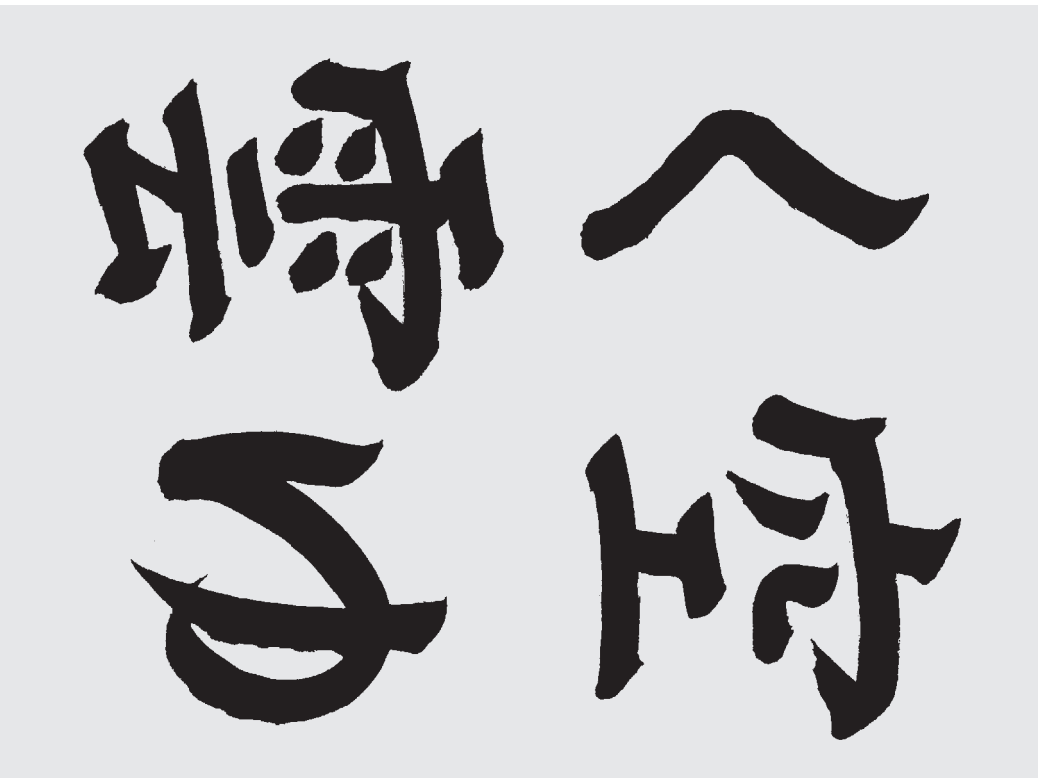
山口啓山先生書

好話  
印象的

中学二・三年規定 【学毛】

樋口玄山先生書





小学五年规定 【学毛】

大澤梢光先生書



小学六年规定 【学毛】

二瓶嶽風先生書

明日  
付也

小学三年規定 【学毛】

杉山曉雲先生書

生太  
合凡

小学四年規定 【学毛】

露崎玄峯先生書



小学一年規定 【学毛】

竹内墨洋先生書



小学二年規定 【学毛】

藤森大節先生書

硬筆規定

一般規定【一硬】(師範・準師範・段位)

上條 信山 先生書

一番鶏が鳴きはじめると小鳥も朝の挨拶を(越)かわしは(者)じ(志)める やがて白いもやを(越)はねて(氏)谷間の村々にも朝が(可)訪れる。

一番鶏が鳴きはじめると小鳥も朝の挨拶を(越)かわしは(者)じ(志)める やがて白いもやを(越)はねて(氏)谷間の村々にも朝が(可)訪れる。

一般規定【一硬】(級位)

二瓶 嶽風 先生書

教養をつけるには泣面をすることである。ぼろぼろとくやし涙を流すことである。高橋義孝のことば

中学規定【学硬】

中村 巍山 先生書

新緑の郊外の町を歩き、家並みもいつか尽きてあたりはすっかり村の景色になった。氏名

小・中学生随意課題【学随】

左の字句を半紙に書いてください。

表現自由。入選作のみ発表します。出品券を貼付して下さい。

小 一・二年 学	白	小 三・四年 学	黒
小 五・六年 学	令和	中 学	独歩

手本解説

基本 「銷」「何」は左図参照。「魂」の五画目(点線)は省略。

銷魂何

硬筆一般規定(師範・準師範・段位) 「鶏」「鳴」「谷間」「訪」は左図参照。

鶏鳴 谷間 訪

条幅随意「朝顔」「少し」「水色」は左図参照。

朝顔 少し 水色

学生部規定



中学二・三年

「印」は傍の上部をあげ左部より下げてバランスをとる。「象」の多は徐々に長くしながら払う。「的」は白と勾ともに縦長にして調和を図る。「話」は横画の長さの違いと方向の統一に留意する。



中学一年

「青」は横画を等間隔に。「雲」は雨かんむりを最大幅にして云との調和を図る。「大」は左右の払いをバランスよく書く。「志」は中心を意識し、士の横画を長めに書くようにする。

小学五・六年規定【学硬】

荻田光山先生書

わたしは、星にきょうみがあります。天体望遠鏡で夜空を見たいです。

名前

支部 年

級段

小学三・四年規定【学硬】

竹内藍山先生書

お寺から北へ向かって歩いて行くと、大きな湖が見えてきます。

名前

支部 年

級段

小学一・二年規定【学硬】

西野江月先生書

で	夕	小			
い	ぐ	さ			
ま	れ	な	赤	と	ん
す	の	空	に	と	ん
なまえ					
	支部				
		年			
					だん
					きゆう

※出品券を貼付して下さい。

一般（師範・準師範・段位）・一般（級位）・中学生はペン使用のこと（中学生は鉛筆も可）。小学生は鉛筆使用のこと。作品の大きさを18 cmよこ7 cm小。一・二課題↓2.1 cmのマス目の紙を使用する。小三・四・五・六課題↓2.1 cm巾の罫線を引く。



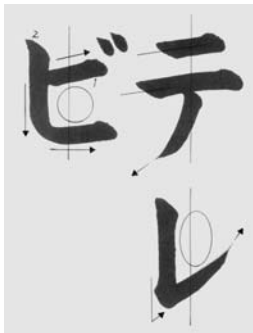
小学六年

「流」は二画目の位置に注意し、さくすくの幅は細く、「れ」の折り返しは一度筆を止めてから方向を変える。「作」は度筆と旁との空間に注意して書く。「業」は偏五画目を最大幅にして横画の方向を統一する。



小学四年

「た」の二画目の斜画は力強く引く。「ん」は中心から書き始め、最後は右上に払う。「生」の横画は長さを変えて書く。「会」は左右の払いをのびやかに書き横画を書く位置に注意する。



小学二年

「テ」の払いが中心から方向を意識し、のびやかに書く。「レ」は中心の左側に縦画を書き右上への払いでバランスをとる。「ビ」は二画目の方向・角度に注意する。



小学五年

「空」の五画目は丸みを持たせながら方向を変える。「ゆ」の最終画は短く払う。「く」は連筆の方向と角度に注意する。「雲」は雨かんむりの幅に対して云を小さく扁平にする。



小学三年

「つ」は少し右上がりに書き出し文字のほぼ中心で終筆する。「ゆ」のまるみは手首ではなく腕全体で書く。「明」は左右の横画の方向を統一する。「け」は三画目の始筆の位置に気をつける。



小学一年

「そ」は横画の長さで折り返しに注意して書く。「ら」は二画目の点を文字の中心にとり、縦画と後半の丸みでバランスをとる。

古典研究シリーズ ④ 【古典】

曹そう全ぜん碑ひ

後漢・中平二年（一八五年）

今月のテーマ

写実的臨書

大字（二字）

◆解説

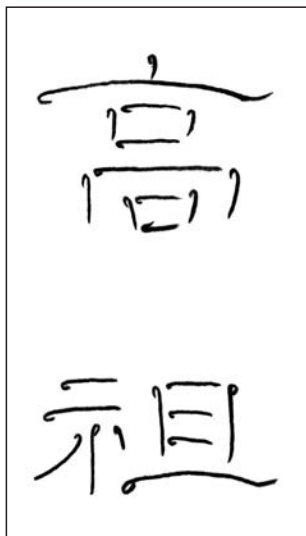
曹全碑は隷書の入門には欠かすことのできない碑である。文字の結体・構成は洗練されており、水平・垂直・平行・等分割・左右相称・中心線一貫といった整齊の美を見事に示している。

◆隷書の用筆

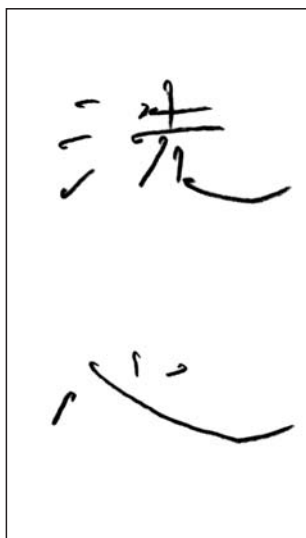
横画は楷書のように直線的ではなく、浪のよううねりを見せている。右上から筆を入れて逆筆にし、筆をそのまま右に運び、最後はゆっくりはねて、波磔をつくり豊かな装飾性を加える。転折は一旦筆を切って二画として書く。

書き方

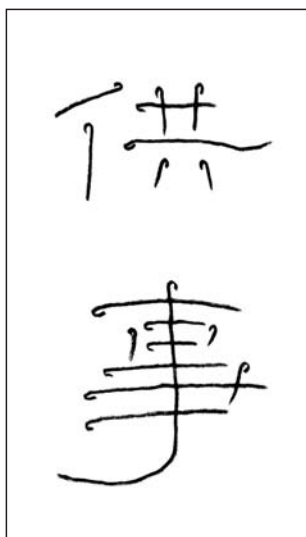
- ① 文字数は二字。左の3つの中より選んで書いて下さい。
- ② 落款を入れて下さい。
- ③ 作品の表左下に、支部名と氏名、又は号を鉛筆で記入して下さい。古典研究の出品券を貼付して下さい。（編集部）



高祖



洗心



供事



図録で見る 信山先生の書

# 「上條信山近作展（一九六七年）」その4

⑭ 北魏張猛龍碑臨書

兵曹伏苗桃符法李徑魯丘景提信之  
張神征類由魯廣王白文誰高堆養生  
任道懷胡外之柏聰明于墨章伯仁人

⑮ 杜甫詩春望

國破山河在城春草木深感時花  
濺淚恨別鳥驚心烽火連三月家  
書值萬金白頭燈火是孤輝欲不  
勝簪  
戊子之歲夏月永杜甫詩作山

⑰ 燕詩

梁上有雙燕翩翩、確の雌雄、泥の極剛、巢を四見、一日夜長空を聲  
投、音轟く、捕獲口無能、期喙瓜難欲、群心、月不知、夜更千、春  
往猶思巢中、幾年、勤二十日、母運難、漸肥、而、者、得、一、則、毛、良

一旦羽翼成引上庭樹、枝葉、翅、不、回、顧、隨、房、四、影、飛、吟、雖、空、中、  
鳴、聲、一、言、不、悔、卻、入、青、巢、中、明、如、夜、悲、燕、爾、勿、悲、爾、當、逐、自、思  
思、爾、少、雛、日、高、飛、背、母、時、當、時、父、母、念、今、日、爾、處、知、  
信山



⑯ 白雲猶似漢時秋

今回は、この図録の最も初期の作品四点を鑑賞したい。

⑭ 北魏張猛龍碑臨書（昭和十八年）

信山先生の年譜によると、昭和十八年に日滿支三國親善展で最高賞受賞とある。これがその時の出品作の一部であろうと言われている。信山先生は張猛龍碑を徹底して学ばれた。多くの古典の中で一番重要なものとされていた。洗練されたスタイル、切れよく伸びやかな線など、他の作家とは全く異質の優れた美を表現された。

⑮ 杜甫詩春望（昭和二十三年、第一回毎日書道展）

先生の師宮島詠士の書風で書かれた作品である。筆鋒は常に垂直に立ち、起筆は逆入筆で折り返し、穂先が線の中心を通っている。私は、この美しい線とみごとな運腕に魅せられ幾度となく臨書してきた。

⑯ 白雲猶似漢時秋（昭和二十三年推定）

縦画の角度が垂直でない画が多い。それに伴って字も傾いている。そして文字に動きが出ている。⑭の縦書きとは違うことがわかる。横作品は横への繋がりとリズムが必要であることを感じさせる一作である。

⑰ 燕詩（昭和二十四年・旧日展第二回展）

信山先生は古典の臨書学習の大切さをよく言われていた。この作品の一字一字をじっくりと観てほしい。王羲之の書がかなり取り込まれている。それは、借り物のようにあるのではなく、先生の書に同化し、信山の書としてある。だから観ていて楽しいのである。

（理事長 市澤静山）

桜花賞

# 第58回 書象展

会期 6月13日(木)～23日(日)  
会場 国立新美術館2階C・D

自古聞中德人稱孟母賢苦心機一斷  
善教舍三遷祇守當年節寧期後  
世傳子業輝墓心松柏更參天 木苑

春日在天陸天崖日又斜  
莫波着只應回壑水長程入淮流  
無奈巴南柳千條傍吹甚更將黃泥白  
粧作杏花埋風宿瀟清春蘆同獨從人  
前關苑景人前道得無動君書小字切  
莫嘆官奴霜夕餘榮華門即任  
意泊北時排兼賞沈沈西尚書 張己亥  
之與古年內臨河六月拜也

亦落雁前渡北風江上寒  
我家象小曲遙隔楚雲端  
鄉淚客中盡如帆天際看  
迷津欲有向平海夕暈之  
寂之先何待秋之空自歸  
欲尋芳草志惜与故人  
逢当路誰相假知者世所  
稀秋應守寐 冥運掩埃  
國麻 貞月

秋葉やわらわしく  
山は緑く木々音も  
秋歌うたう  
月夜やわらわしく  
山は緑く木々音も  
秋歌うたう  
月夜やわらわしく  
山は緑く木々音も  
秋歌うたう



島田 壺峰



小林 貞月



小田切静唱



泉澤 禾苑



藤王ノ高間江活ニ臨ミ佩玉鳴響歌舞罷ミタリ畫練賦ニ  
 飛テ南浦ノ雲朱簾暮ニ捲ク西ノ雨問雲津影日悠々  
 物控リ星移リ笑和ヲカ度リシ閑中ノ帝子今何クニカ  
 在レモ檻外ノ長江空ニシテ白ラ流ルモノトシ 玉和詩并書

年少同外都ニ遊周尋野音碎登樓別東衣出徑勝舊日車向  
 遠塵空滿日頭短道者來無用車行須白髮在前生汝今不用何  
 軍少板印三笠又五笠平原池閣を誰家雙塔業空之野菊  
 花空海故宮無入路西東湖夕境域斜 王建詩并書

母親の腕は傷み〜さびてきつら  
 子もちらり〜ぐっすり〜眠ることに  
 ガイアトルニエゴのこゝろを思院

溪回松風長蒼風窺古瓦不知何王殿遺構絶壁ニ陰房  
 鬼火青壤道哀湍瀉万竊真笠竿秋色正瀟灑美人  
 為簫土泥乃粉黛假當時侍金輿故物獨石馬憂未藉  
 草坐浩歌淚盈把冉ニ冠逢向誰是長年者 孔心編



山中 孔心



日比野照悦



塚原 花瑤



谷川 汀楓



関澤 劔山

獎勵賞

長夏無靜  
一望終問  
何心所為  
細事歸來  
歸兒北童  
忽對來風  
顧此在遠  
懷酌酒好  
陶然有從  
鷗飛去  
復還  
已亥夏月麗節

茂木 麗節



此身漂泊苦而東右臂偏折半身難耳疾繁舟以不渡也  
伏枕在書室十年既難將離遠百里難聽習俗同旅屬上雲  
歸紫塞家人縱火用多紙書成接內煙花表漢主山河錦  
備中若少若來洞底洞日顏愁較白頭翁 永江書

我避四方不預意陽狂旋葉成都市大熱滿行隨所亦聊為  
居民起世防熱空夜靜上高桂買酒務麗盈月歸中  
神劍老和月往悲歌招落弟刺却君以活此平新却桂  
對月更明丈夫有志苦難成修名未立華髮及之章柳

山風吹燕子隄沙乘區絕破形藏空墜壁色立積鐵徑摩  
穹蒼踏石與塵地裂修無根竹嵌空太始雪藏蓬衰駐  
底使殊條不悅水寒長冰橫我馬骨正新空陸感天空  
熱珠未滅熱蓬箭三軍四首肝肺熱 童玉書

已見寒梅數度開 身聲心一視春華長向塔上可生  
綠氈回且對紅衣淺後深花心無欲斷 春色豈知心開灑塔  
邊草輕隨隨外外黃鸝弄本是衙入東央官安得念塵網  
拂衣歸去直然來 蔡松濤 伊柳 花源 王維詩 洪谷

陸行長谷渴今渡沁河水奔騰芝百灘觀  
數里或來坐其涯肩擔欣整池不意山橋問  
得見清沁連朝塵沙日翻爾淨如洗雖云偶  
力對此六足喜南風吹青蒲白鷗忽飛趣  
千思



福山 京江



富田 童柳



嶋埜 壺玉



洪谷 静秀



菅野 芋里



正身行將夕征途去轉難不知遠  
地別祇訝客衣單溪冷泉聲  
苔山出木葉乾莫言關塞極  
而雪如漫、驅馬到門北、風送  
馬哀蒼茫遠山口路遙胡天回互  
倚已深入前軍止中迴誰憐不  
得意長劍招歸來



宿谷 視心

金甞光祿大夫檢校刑部尚書  
上柱國魯郡開國公顏真卿謹  
奉 富言于右僕射定襄郡王  
郭公閣下蓋大上有立德其次  
有立功是之謂不朽抑又聞之  
瑞探者百察之師長



塚本 皎沙

玉露川傷柳對秋正山無峽氣蕭蕭  
在江間波浪兼天湧塞上  
層雲接地陰霖蕭雨開北日  
漫如舟一繫紅關心塞秋空  
月尺白帶城烏急暮能千家  
山郭影斜暉日、江柳空葉微  
信宿漁人逐逐、清秋燕子  
故飛、巨衝飛疏功居薄劉  
白傳經心事遠同學少年多  
不賤立陸衣烏自輕肥



余語 元祥

昨暮辭赤城今朝度蒼嶺  
峻路屈盤峽東遠暮景臨  
出風門攻雷入天井冥行  
九地底高關羣木頂瀑泉  
流其中鐵若洩深潭哀猿  
啼無外去鳥飛更平僕夫  
怨跋涉瘦馬悲項領盜賊  
遠天誅平人遭災皆佇立  
歎欽步心辭難為整



山口 芳節

高根に登りまなじりをまほつて望み眺むれ  
ばわが行くまきの山河は目もほがらに遠く  
雲の峯砕けて遠く青に入る



布施 杠華

俊英選拔五人展

遠山飛鳥近山鹿落葉紅  
身美秋風裡獨立猶衣人

窓前芭蕉樹亭下井中涼  
讀歌久賦詩終日坐其傍

對君不語少情意但可  
慣好林頭書雨打簷前極

青山前與後白雲西又東  
有煙過客消息應難通

橫薪小翠峯架岩跡名一平  
時息長松小靜閑暮禽歸聲

何處消來炎獨處出回宮  
民及盈可憐冷心士林

坂牛靜心

秦州城北寺勝跡隱巖宮苔蘚山門古丹青殿空月明垂露  
雲遙度溪風清渭無情極愁踟躕而東州關鎖著同驛道出流沙  
陣雲幾千隘若人者萬家馬駟羊汗落胡舞白題斜年少臨  
沈子西來亦自誇紅角餘邊郡川原欲夜時秋聽地黃風散  
入雲悲抱葉寒蟬靜歸山獨鳥遲萬方聲一概吾道竟何之

城上胡笳秦山遠溪節歸防河赴滄海奉詔黃金微士苦形骸黑  
林疎鳥獸稀郡堪往來成惟解郵城圍莽萬重山孤城石谷州  
長風雲出寒不夜月臨關屬國歸何晚樓前新未暹煙卷一長望  
哀蟻正推頰關道尋源使從天此路迴牽牛去幾許鹿馬至春來  
一望幽燕隔何時郡國東征健兒盡羌笛暮吹哀今日明人眼

臨池好解亭囊篋低地碧高柳半天青稠疊多幽事喧呼間使  
星老夫如有此不異在野桐雲氣接崑崙崑崙崑崙崑崙崑崙崑崙  
渭水使客向河源煙火軍中華字羊嶺上村所居秋草靜正  
閒小蓬山頭南郭寺小驛北漢泉老對空庭得清渠一邑傳秋  
花危石底晚景臥鐘遠使仰悲身世溪風為讀然傳道東石谷

深藏數十家對門藤蓋瓦映竹小穿沙瘦地初宜粟陽坡可種瓜  
人近和報但恐天龍飛萬古仇池穴潛通小有天神魚不見福地  
語真傳近接西南境長標十九泉何時一茅屋送老白雲邊東村  
好產谷不與衆峰羣落日遊雙鳥聯天卷片雲堅人矜險絕小  
竹會平分採藥吾將老兒童未遣閒遊社陳易口不復辨晨

光蒼而氣淋慢山雲低度輪鷓鴣窺淺井並期上深堂車馬何  
蕭索門前百草長地僻秋將盡山窩客未歸寒雲多斷續造  
日少光輝警急峰常報傳聞徹屋飛西或外路回何得逆天賦  
風林火未息魚海路常難候火雲峰淡聽軍幕井乾風連西  
極動月過北庭寒故老思飛將何時議築壇

竹內藍山





畑 中 高 山



林 田 翠 山



柳澤玄嶽

第42回謙慎書道会東部展

会期 五月二十四日(金)～二十六日(日)  
会場 山形美術館

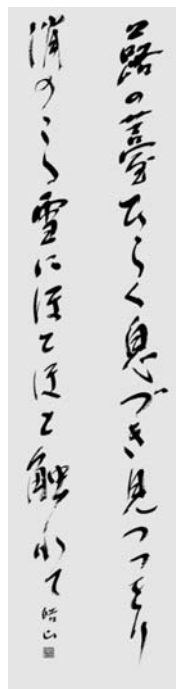
大澤梢光



高瀬霞山



小林皓山



洪江皎雲



結城正憲



## 書展昇格者紹介

### ◆日展会友

久保 妍山

### ◆読売書法会理事

小暮 静翠 中内 真意

### ◆読売書法会幹事

安蒜 小映 岡田 象月 小柳 貞松  
齊田 昌静 柳澤 雪葉

### ◆読売書法会評議員

齊藤 悠花 上條 哲山 來司 信博  
田中 翠花 秦 頼山

### ◆読売書法会会友

北村 瑛光 久保田珠悠 齋藤 優月  
佐久間蒼峰 茂木 麗節 柳田 志華  
山口 竹童 山口 芳節 横井 萌玉  
米倉 花光

### ◆謙慎書道会常任理事

燕木 珠紅 中内 真意

### ◆謙慎書道会理事

新井 雄峰 伊藤 恵佳 浦山 蒼樹  
永田 智翠 早川 雅節 牧野 蘭庭

## 第36回読売書法展

### 役員・事務局委員一覧（書象会関係）

◆企画委員	田中 節山 市澤 静山	◎印は主任、○印は副主任
◆執行委員	市澤 静山	
◆東京展実行委員長代行	市澤 静山	
◆同副実行委員長	内藤 望山	
◆特別賞選考委員	市澤 静山	
◆本年度審査員	杉山 暁雲 鈴木 春鳳	
◆審査部委員	山口 啓山 柳澤 玄嶽	
◆電算部	中内 真意	
◆作品部	坂牛 静心 田中 紫花	
◆役員搬入	宮本 耕成	
◆公募搬入	藤森 大節 小室 墨汀	
◆各展	◎柳澤 玄嶽 畑中 高山	
◆搬出	寺尾 碩雲	
◆顕彰部	◎山口 啓山 竹内 藍山 藤森 大節	

## 令和元年度 書象会夏季合宿錬成会のご案内

今年の夏季合宿は、福島の地での開催となります。雄大な磐梯山、豊かな猪苗代湖に近い大自然に抱かれて、おらかな気持ちになれる場所です。合宿会場は、11年前と同じ磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」です。静かな林の中に美しいツインタワーがそびえる近代旅館です。ホテルの大きなコンベンションホールを解放していただきましたので、ゆったりした錬成が楽しめます。基本の筆遣い習得コースから作品制作コースまで多彩な錬成部門を用意しております。書友お誘い合わせの上、書道三昧の夏をお楽しみください。

- ・期 日 8月31日(土)～9月2日(月)
  - ・会 場 磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」
  - ・費 用 46,000円
  - ・定 員 200名
  - ・参加申込 書象会本部より送付の案内に従ってお申し込み下さい。(締切7月12日(金))  
会員以外の方は、書象会本部 TEL 0422-53-9743 へお問い合わせください。
- ・錬成部門 「書象誌半紙課題」「信山流条幅」  
「書象展」「謙慎展A」「謙慎展B」  
「日展」

## 第7回大阪支部展

会期 四月二十九日(月)～三十日(火)  
会場 大阪市中央公会堂二階ギャラリー  
主宰 藤澤珠玉先生

平成最後の四月二十九日、三十日、大阪市中之島中央公会堂二階ギャラリーで第七回大阪支部展を開催いたしました。

思えば一年前の四月一日の朝、中央公会堂の前で緊張の思いで立っていました。会場を借りるための抽選会の日でした。奇跡的にも二十九日の祝日を確保でき、嬉しさのあまり即、「平成最後の日に中之島中央公会堂で支部展を開催します。」とラインでみんなに送信しましたが、今日はエイプリルフールと信じてもらえず！初めての会場で、重要文化財の建物でもあり、展示方法には大変苦慮いたしました。開催前日の夜、会員有志で力を合わせて信山先生と静山先生の作品、そして珠玉先生と会員、子供たちの作品を無事に展示しました。また、ワークショップのコーナー、文房四宝の展示をすべて終え感無量で当日を迎えました。が、人生そんなに甘くはなかった。当日の朝、軸作品がすべて落下していたのです。

初日の一番乗りで、福井から畑中高山先生が来場され、ワークショップで「花」の字を書いてくださいました。それから、来場者の「花」の字で「字のお花ばたけ」が一杯になりました。そして前回の三倍以上の来場者があり、大盛況のうちに支部展を終えることができました。

会員全員、「次も中之島中央公会堂で支部展をしたい」、「良い作品を展示したい」との想いで、珠玉先生と共に精進していきたいと思えます。

(松田司峰記)



展示風景



ワークショップ「字のお花ばたけ」

## 藤森博士の漢字表記にも申す⑬

書道学博士 藤森大節

二〇一九年四月一日に発表された新元号「令和」。管義偉官房長官が掲げた「令和」の墨書は新時代の象徴として私たちの脳裏に深く刻み込まれました。「令和」については出典が『万葉集』ということも話題となりましたが、もう一つ話題となったのが「令」字の書き方です。最終画が縦画の「令」と、点の「令」、「どちらが正しいのでしょうか？」と私も質問を受けました。「令」は活字体、「令」は筆写体、どちらも適切な書き方であって、正誤の対象とはなりません。

文化審議会国語分科会が実施した「国語に関する世論調査」(平成二十六年年度)の「手書きの楷書の字形に関する意識」によれば、「令」字の書き方について「令」を適切とする回答は30.7%、「令」を適切とする回答は34.5%、どちらも適切な書き方とする回答は32.9%で、人によって字形に対する意識に相違があることが確認できます。興味深いのは「令」と同じ構成要素をもつ「鈴」字の書き方です。「鈴」を適切とする回答は13.4%であるのに対し、「鈴」を適切とする回答は58.9%、どちらも適切とする回答は26.2%でした。「鈴」字になると筆写体の「令」に書くことが適切だと理解している人が6割近くにも及ぶことは驚きです。なぜこのような意識の相違があるのでしょうか？

(次回へ続く)



# 正師範紹介

感謝



乙訓支部

森井京琴

この度は正師範の認定を頂き、誠に有難うございます。私は平成元年より宮崎京楓先生に習い始めました。途中三年間程学業に励むためお稽古を中断させて頂きましたが、この三十年間書道を楽しんで続けてこられたこと、そして念願の正師範のお許しを頂きましたのも、宮崎先生の温かく細やかなご指導と励ましのお陰と心より感謝申し上げます。書道展の作品制作の折には内藤望山先生にもご指導頂き大変感謝しております。今後は初心を忘れず精進してまいりますので、御指導の程宜しくお願い致します。

# 特待生紹介

(学年は試験合格時のものです)

今後の抱負



美那支部 中一

井伊彩月

一回で合格できたのは驚きました。小学校二年生から始めて、六年になります。今まで字が上手な人を参考にしてきました。今後は参考にしてもらえよう更に努力していきたいと思えます。硬筆も頑張ります。支部長先生より一言 合格おめでとう。これからは色々な書体や、書展にも挑戦して書の幅を広げていってほしいです。

YEAH/二冠



上尾支部 中三

大角地 麻璃香

小学三年に入会して七年、毛筆と硬筆で特待生を頂くことが出来ました。お稽古を続けさせて頂けた母とご指導いただいた先生にとても感謝です。今後とも今まで通り大好きな友人と共に頑張っていきたいと思います。支部長先生より一言 受験期も休まずよく頑張りましたね。次の目標は師範取得です。勉強に部活動、書にも力を入れてね。

念願の特待生



若竹支部 中二

尾美心絆

小学一年生から書道を始めてついに特待生になることが出来ました。今までの特待生を目指してがんばってきたのでとても嬉しいです。教えて下さった先生、応援してくれた家族、本当にありがとございました。支部長先生より一言 休まず皆勤賞の努力家、心絆さんです。明るくすなおでテニス部でも頑張っています。たのしみです。

感謝



霞墨支部 中三

木幡雅也

毛筆の合格は中学一年生のときでした。今回やっと硬筆でも合格できてうれしいです。熱心に指導して下さった先生に感謝しています。本当にありがとございます。支部長先生より一言 手本をみる力、形をとらえる見事さは、教室の皆の手本です。二冠おめでとう。すばらしいですよ。

楽しさ



茅野支部 中二

黒澤美月

私は、小学生低学年から始め、中学生になり忙しい日々が続く中習字を続けてこれたのは先生から習字の楽しさを教えて頂いたからです。特待生になるのは一つの目標だったので、家族や先生に感謝の気持ちでいっぱい입니다。支部長先生より一言 合格おめでとう。部活で疲れても休まず頑張った結果、今後も更なる活躍期待しています。

目標達成



柏心支部 中二

佐藤美槻

私は、今回「特待生合格」という大きな目標を達成することができとても嬉しいです。目標達成というのは、私にとって励みにもなりました。これは全て先生のご指導のおかげです。本当にありがとございました。支部長先生より一言 素直な美槻さん、熱心に努力を重ねてきた結果です。さらに上、師範を目指して変らぬ努力を続けてね。

嬉しい！



桜木支部 中三

岡田花奈

私は今回、特待生になることができ、嬉しいです。毎週送り迎えをしてくれた家族や、分かります教えた下さった先生に、とても感謝しています。習字は楽しかったです。ありがとございました。支部長先生より一言 目標達成おめでとう。吹奏楽部と書を両立させました。更なる飛躍に期待していますよ。

支え



茜支部 中三

青木暉繁

小学校から始め、目標であった特待生にやっとなることができてうれしい気持ちです。特待生になれたのも、先生がしっかり教えてくれた支えてくれたおかげだと思います。本当にありがとございます。支部長先生より一言 特待生おめでとう。受験で忙しい中、休まず熱心に書いています。これからも頑張りますよ。

## 特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)



美那支部 中二

目指せ二冠！

高橋 真彩

小学校一年生から書道を始め、特待生になることができました。今まで支え続けて下さった先生や家族のおかげです。周りの人への感謝を忘れず、同じ教室の仲間と切磋琢磨して、次は硬筆での特待生を目指したいです。

今回、毛筆に続いて硬筆でも特待生になることができました。小学一年生から書道が続けてきた努力が実り、とてもうれしいです。今までの経験を生かして、これからも書道が続けていきたいと思います。

私の目標は、毛筆・硬筆共に卒業までに特待生になることでした。硬筆はチャンスが一度しかなく、とても不安でしたが、今回合格することができ、嬉しかったです。先生や親、友人に感謝です。



龍文支部 中三

成長の一ページ

神長 弘行

私は特待生になって変わったことがある。それは自分に自信を持つことである。どんな課題が出ても一度決めたらやりきることを目標にし、頑張りました。特待生になって本当に良かったです。



名東支部 中二

感謝

宮崎 莉唯乃

私は小三から通っていて、思うように書けない時、なんどもやめようと思いましたが、丁寧に教えてくださったり、声をかけていただいたおかげで特待生になることができました。先生、本当にありがとうございます。



名東支部 中三

継続すること

笠野 翔太郎

私は小学校一年生から習字を始め、特待生は自分には遠い存在だと思っていましたが、先生に優しく丁寧に教えていただいたおかげで習字を継続することができました。ありがとうございます。



茜支部 中三

特待生

坂口 愛佳

硬筆より後に習い始めた毛筆が、中三の最後で特待生になったので、とてもうれしいです。先生のご指導のおかげでここまで上達することができました。これからも上達を目指して頑張りたいです。



練馬支部 中三

特待生になって

宮本 真優

毛筆に続き硬筆でも特待生になることが出来ました。小さい頃から特待生になることを目標にしていたのでとても嬉しいです。高校生になっても変わらず努力していきたいと思っています。ご指導下さった松岡先生に感謝したいです。



富貴会支部 小六

目標達成！！

菊地 颯

小学校一年生から始めた習字。毎週、少しずつ練習し、「特待生になる！」という目標に向かって頑張ってきました。丁寧に教えてくれた先生や、支えてくれた家族に、感謝の気持ちでいっぱい입니다。ありがとうございます。

支部長先生より一言 特待生おめでとう。継続は力なりですね。これからも更なる向上を目指して頑張りたいです。

支部長先生より一言 特待生合格を機にご家族への感謝の気持ちを忘れず更に飛躍して下さい。後に続く塾生達の憧れです。

支部長先生より一言 おめでとう！大好きと、努力が開塾以来の最年少合格の夢の実現になりました。これからが期待されます。



# 少年少女のページ 「わたしの会の仲間達」

宮川支部  
小四 宮前 心寧



お姉ちゃんは少しおちゃめで、妹はおっとりとしています。コンピのよい二人は書道教室でもよい雰囲気をつくっています。種々興味を持ち楽しむ二人。

名東支部  
中二 大圃 琴葉



中学校では合唱部。小一から始めた習字は昨年、姉妹友好都市の書作品が学校代表に選ばれる程の腕前に上達。特待生を目指して毎週のお稽古に励んでいます。

名東支部  
中二 小倉 瑚子



中学校ではテニス部。昨年夏は真っ黒に日焼けをし部活後の夜の書道のお稽古でも集中して書く姿に感心します。特待生まであともう一歩。頑張れ!!

山愛支部  
小五 野口 さやか



いつも丁寧に文字を書いているさやかちゃん。納得するまで練習しています。同じ学年の友達も多い教室。みんなと一緒にがんばりましょう。

杉月支部  
小五 熊野 実希



姉妹揃って「滋賀県書き初め展」で金賞受賞。明るい性格は皆の人気のもの。お習字には満面の笑みで現われます。何事にも意欲的。成長が楽しみです。

杉月支部  
小三 山岡 宗馬



漢字への興味が旺盛な、しっかり者の宗馬くんです。学校生活の話も沢山聞かせてくれます。お習字が大好きなので三年生の書写が楽しみです。

珠悠支部  
中三 吉田 真優  
小五 吉田 優菜



真優ちゃんは部活のバトンと塾。妹の優菜ちゃんは多くの習い事をしながら頑張っています。仲良しのかわいい姉妹。芯の強い所に今後期待しています。

杉月支部  
中二 熊野 枝望



今年の「滋賀県書き初め展」では姉妹揃って金賞受賞。学校を代表する立派な作品でした。学習面でも授業重視の姿勢を貫く努力家。今後が楽しみです。

星支部  
小四 渡 結衣



教室には早くから来て遅くまで、枚数では一番多く書いています。硬筆もやり、ピアノ、プールと大変忙しい頑張り屋さん。この先が楽しみです。

若葉支部  
中一 鈴木 莉彩子



支部で二組目の双子姉妹はバスケットが好き。二人で早朝ランニングやドリブル練習など努力を続け、書道にも熱心に取組み切磋琢磨して見事な字を書きます。

杉月支部  
小二 西尾 みなみ



親子二代で教室の生徒さん。みなさんも待ちこがれて習いに来ました。書道一家の環境の中で進んでおけいこにきます。成長が楽しみです。

大阪支部  
小四 藤江 卯



幼稚園の頃から静かに集中してお稽古しています。しっかりした線の作品が印象的です。図工が好きで、ダンスも習っています。期待の卯ちゃんです。



△隷書条幅▽ 評 蕪木 珠紅

京 江 瀟洒な作。墨色もあざやかでよい。

霽 苑 線に冴えあり。力強い線質もみごと。

静 秀 細い骨力のある作品、波磔よい。

泰 舟 含墨豊かで沈着な作。しかも骨力抜群。

雨 香 鏝度ある作品、逆筆のあたりも強い。

天 妙 洗練された奥深い作。格调高い。

採 舟 墨色みごと。健康的な明るい秀作。

涛 仙 躍動感ある作。落款や、小さめに。

△条幅随意▽ 評 中村 巍山

暎 光 漢字に負けないかなで調和している。

盈 月 かなも洗練されうまく流れている。

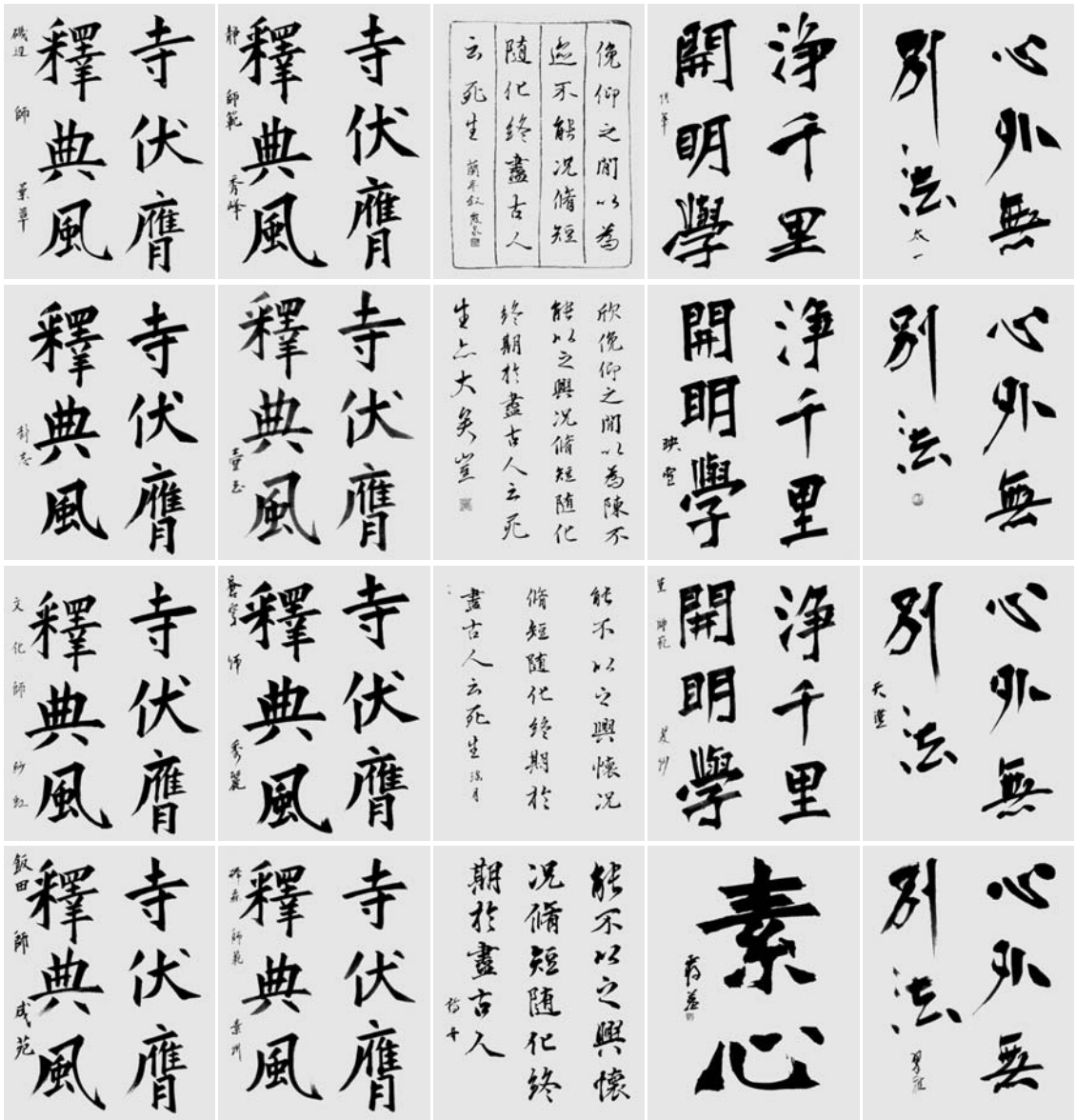
壺 峰 太めの線でまとめた。潤渴もうまい。

△通信条幅▽ 評 柳澤 玄嶽

藤澤竹虹 この大胆さと切れ味が信山流の神髓。

倉谷聰月 大胆、堂々たる作品となった。

小林直月 芯のある強い線で緊張感に満ち、流麗な作。



基本課題 評 大賀 霞泉

高橋太一 精彩のある伸びやかな線に若さを見た。  
宮田天遥 一点一画に気合いの入った充実した作。  
飯田天澄 柔らかく悠然とした雰囲気が好き。  
遠藤翠雅 豊かで健康的な線質が魅力的でよい。

研究課題 評 二瓶 嶽風

杉本統華 自由奔放に楽しんでいるようで品格高し。  
川島映雪 逆筆の良く効いた伸びやかな線がよい。  
竹野翠紗 清澄な線質に、爽快さを感じさせて佳。  
島村霞菫 墨量豊かにして重厚。力溢れる秀作。

古典課題 評 坂牛 静心

霞 泉 形を忠実に把え動きがあつてよい。  
瞭 月 小ぶりに書き、行間が広く全体感見事。  
瑤 月 細部にわたり神経が行き届いている。  
楊 舟 深みある重厚さを感じる。形もよい。

師範部

〈楷書〉 評 山口 啓山

秀 峰 点画並びに形の精度が実に高い秀作。  
壺 玉 淡々とした書きぶりで一切の力み無し。  
秀 麗 作品に他を寄せつけない強さあり。  
素 州 余分な力を排除し爽快感が伝わる佳作。  
葉 草 腕法が安定し一点一画の伸びが印象的。  
静 志 緊張感に富んで精神の集中が見事。  
紗 虹 素朴な表現で明快に仕上げたのが良い。  
成 苑 錬度の高い作品で日頃の研鑽が生きた。



恭 月 スケールが大きく大胆な運筆が群を抜く。  
 霞 豊かな作品で墨量の使い方が効果的。  
 光 扇 軽快なタッチで貫通力が実が良い。  
 秀 翠 真摯な書き方で隔々まで気持ちが入った。  
 玲 笙 大きめながらも充実感に満ちている。  
 雄 峰 全体構成良く六文字の調和が伝わる。  
 絢 楓 直線の表現で飾りが無くて清々しい。  
 頼 山 格調高い作風で錬磨の後がうかがえる。  
 花 瑤 強い線で一貫している。この調子です。  
 茜 沙 やや小ぶりだが形よく、のびやかだ。  
 壺 藍 大胆な運筆で他を圧倒して大佳。  
 緑 水 信山流のかなです。錬度のある作品。  
 壺 水 字形、連綿もしなやかでよい。うまい。  
 谿 擘 形を熟慮し流れもみごと。錬度の跡あり。  
 壺 桜 メリハリがある秀作。潤渾もよい。  
 秀 華 強弱があつてリズムカルな作となった。  
 沙 泉 遅速緩急があつて緊張感のある作。  
 光 沙 豊かな線で統一され深みがあつてよい。  
 竹 虹 サラリと書いて涼風の景を感じる。  
 峰 雪 のびやかで雄大。線も強靱だ。

△仮名▽

評 中村 巍山



中一 中嶋彩子 牧歌	小二 ゆりや かのど	小四 関根杏樹 五月晴れ	小六 結衣 香る若葉	中三 麻緒 黄色い草花
小六 田中亚美 太陽	小一 かしまあんな かのど	小四 玲奈 五月ばれ	小六 関口晴音 香る若葉	七段 長谷川琴羽 黄色い草花
小四 藤崎竜也 空	小一 関歩生 くっ	小三 森田陽人 お友だち	小五 山中愛名 元気な子	中一 山口真央 登場人物
小一 三三 山	小一 くっ	小三 乃花 お友だち	小五 柿沼里緒 元気な子	中一 彩音 登場人物

学 生 部

評 小淵 石峯

長山麻緒 太い線で力強く書けている。雄大だ。  
 長谷川琴羽 形よくていいいに書けた。名前もよい。  
 山口真央 四文字を太くバランスよくおさめた。  
 江良彩音 線が伸び伸びとして形よく書けている。  
 堂上結衣 大きさを考えて作品を明るく見せている。  
 関口晴音 半紙一杯に大きく力強く書けている。  
 山中愛名 太い線で堂々としている。名前もよい。  
 柿沼里緒 素直な線で形よく伸び伸びと書けている。  
 関根杏樹 太めの線で堂々として払いも形がよい。  
 有田玲奈 一本一本の線がていねいですばらしい。  
 森田陽人 のびのびとした線で形よく書けている。  
 西口乃々花 しっかりとした線でさわやかに書けた。  
 津久井悠也 太いせんでりっぱに書けている。  
 加島杏奈 大きく書けた。とくに名前がすばらしい。  
 関 歩生 力づくでどうと書けました。  
 小田久瑠実 太いせんで書けた。これからもしっかり。

半紙 随意

評 鈴木 草影

中嶋彩子 線質も形も見事な良い作品です。  
 田中亚美 のびやかな線でゆったりと書けました。  
 藤崎竜也 力強い線で形よくかけました。  
 ここな どうどうとげんきな山がかけました。

このページに掲載された人には書家会より記念の筆をさし上げます。

		高邁 華雪 松井佑菜			寺伏膺 釋典風 土筆 山内ひかり			寺伏膺 釋典風 土筆 山内ひかり
		高邁 碧草 星佳奈			寺伏膺 釋典風 長翠 山内ひかり			寺伏膺 釋典風 竹筆 山内ひかり
		高邁 練馬五坂 金井孝恵			高邁 若松 特二 節子			寺伏膺 釋典風 竹筆 山内ひかり
		高邁 美菜 6級 並原浩代			高邁 竹羊 特一 小林俊菜			寺伏膺 釋典風 八潮 津波 賀子
		高邁 七級 喜代美			高邁 涼心 一級 間根節子			寺伏膺 釋典風 宇田川 板子
		高邁 有象 八級 かおり			高邁 尚社 上野ほのか			寺伏膺 釋典風 一ノ瀬 涉子

- (楷書) 玄樸 泉 さらら  
(段位) 倭 西村 宏美  
静 玉井 麻次  
平心 合葉 詔次  
玄燿 原 誠子  
この 多賀谷 誠子  
竹墨 森谷 教子  
八潮 仁平 賀真  
優生 宇田川 板子  
長翠 山崎ひかり  
中條 正祥  
(級位) 若松 川島 郁子  
竹華 小林 優菜  
凜心 関根 莉子  
高社 上野ほのか  
華雪 松井 佳奈  
静翠 星 佑奈  
練馬 金井塚 恵  
美菜 笠原 浩代  
みな 秦 喜代美  
有象 三宅 かおり  
(仮名) 若松 栄田 蕙香  
高風 佐孝美 也子  
游墨 森 游真  
龍文 水島 彩  
玄燿 桜井 法子  
この 多賀谷 葉子  
愛心 鬼十加 奈恵  
高風 川崎 彩夢  
(級位) 秀雪 横倉 源  
八潮 川島 郁子  
社会 泉 真一



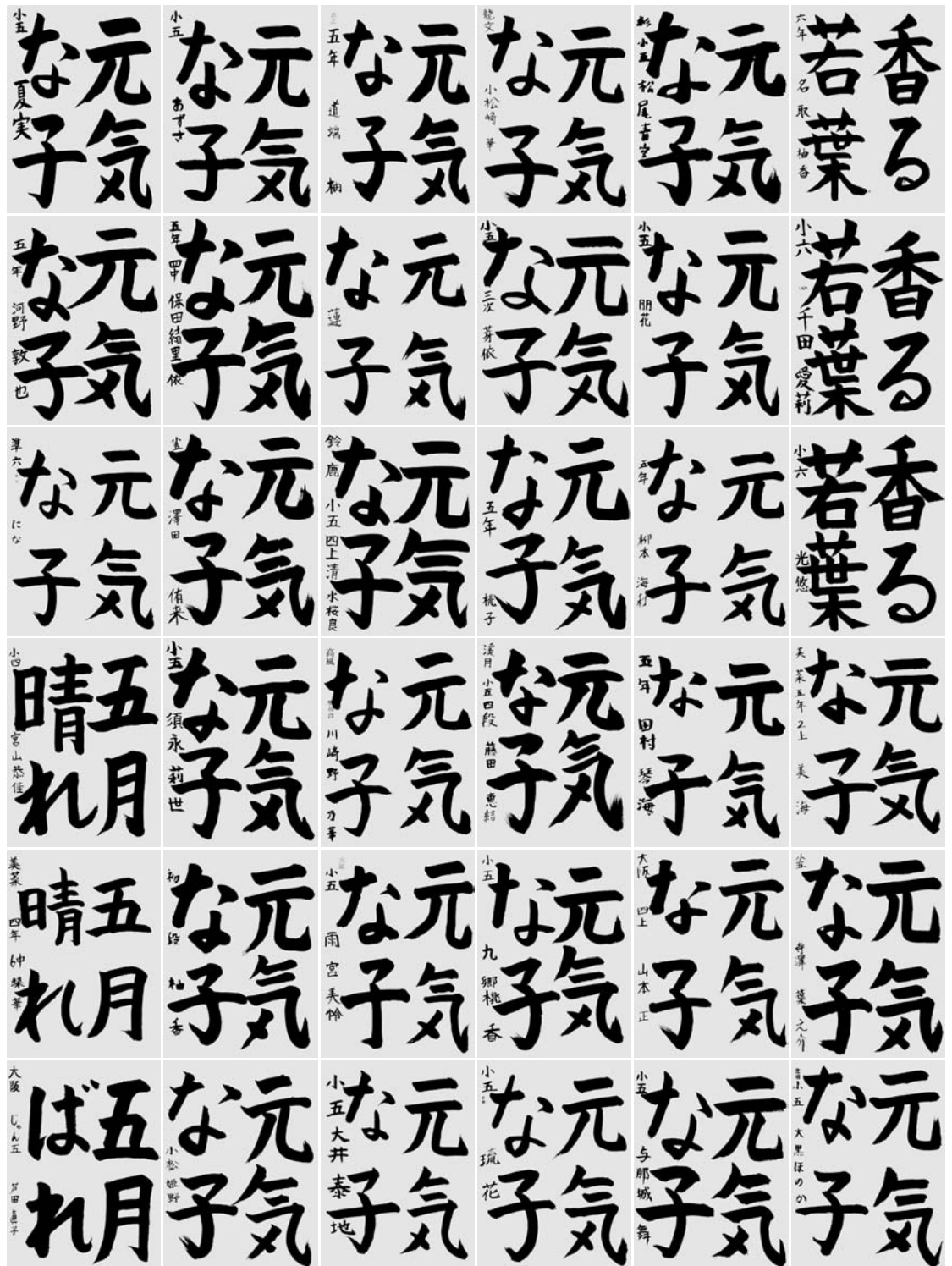
中一 小野 麻帆	登場人物	中三 川口菜々香	黄色い 草花	船橋中二 準初段 池洋ゆい	黄色い 草花	中二 鹿愛	黄色い 草花	中二 結奈	黄色い 草花	中二 洋七 井田夏海	黄色い 草花
中一 宮川 初寧	登場人物	中二 伊藤真緒	黄色い 草花	中二 阿部 ののか	黄色い 草花	中二 山本 愛美梨	黄色い 草花	中二 宇佐美 初心	黄色い 草花	中二 浄之	黄色い 草花
中一 稲葉 蒼	登場人物	中二 珠士	黄色い 草花	中二 平花 彩	黄色い 草花	中二 大西 希実	黄色い 草花	中二 萌那	黄色い 草花	中二 上原 彩聖	黄色い 草花
中一 吉岡 実実	登場人物	中一 歩夢	登場人物	草花 和奈	黄色い	中三 鈴木慶太郎	黄色い 草花	中三 太田 陽菜	黄色い 草花	中二 奥 愛咲唯	黄色い 草花
中一 塩川 唯菜	登場人物	中一 須八 高須 大知	登場人物	草花 青柳 ゆずゆ	黄色い	中三 塚原 希々花	黄色い 草花	中三 佐藤 拓斗	黄色い 草花	中二 白井 まみ	黄色い 草花
中一 葵	登場人物	伊奈中 美空	登場人物	草花 中三 準八 さくら	黄色い	中三 七段 伊藤咲甲奈	黄色い 草花	中二 児玉 いな	黄色い 草花	土筆中三 高瀬 花	黄色い 草花

〔毛筆〕

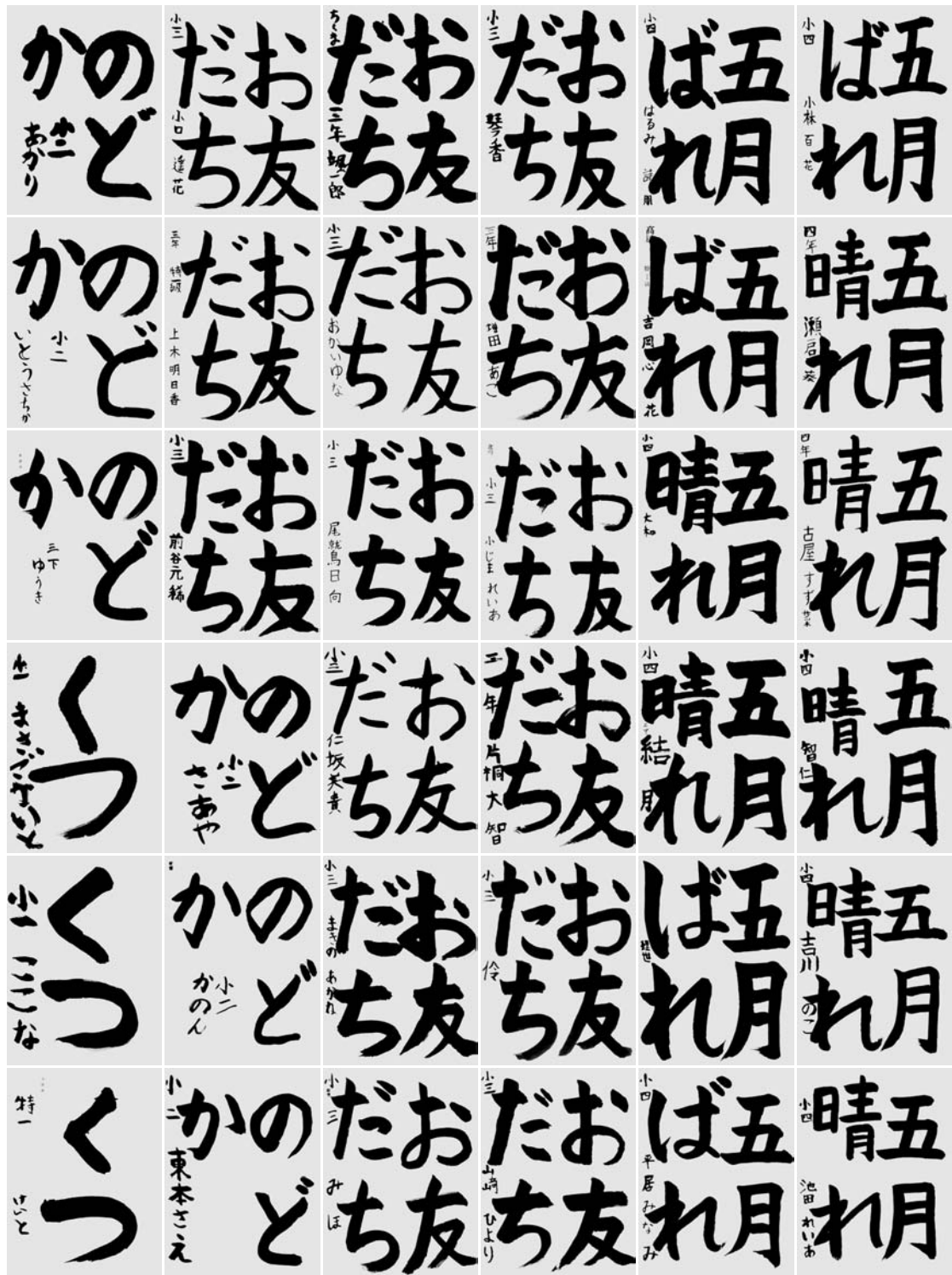
- 中野 若宮 美苑 凜心 湊 有穂 伊奈 名東 光丘 宝仙 有虹 有象 李光 水代 成城 皓花 華雪 船橋 竹華 聖 一絵 志摩 秀雪 千曲 中野 この 宇土 硯扇 静翠 虹友 新城 高社 北府 小光 〔中二・三〕 井田真夏海 樋口 塩川 吉岡 稲葉 宮川 小野 深堀 高須 伊東 歩夢 葵 媛菜 英宣 蒼 初寧 麻織 美空 大知 伊藤 真緒 田部井 瑛士 川口菜々香 金子さくら 青柳ゆずゆ 宮脇和奏 前野鈴奈 阿部のののか 池澤ゆい 伊藤咲里奈 塚原希々花 鈴木慶太郎 大西希実 山本愛美梨 大平麗愛 児玉いな 佐藤拓斗 太田陽菜 窪田萌那 宇佐美初心 宇佐美結奈 土筆高瀬 高瀬花 白井まみ 奥愛咲唯







- |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 大阪 | 美菜 | 松代 | 小四 | 硯二 | 硯  | 光丘 | 松聲 | 宮川 | 名東 | 秀雪 | 富貴 | 若松  | 若竹 | 大象 | 高風 | 鈴鹿 | 成城 | 書之 | 華雪 | 倭  | 溪月 | 山愛 | 正桂 | 龍文 | 練馬 | 大阪 | 湊  | 源創 | みな | 杉  | 北府 | 妻科 | 美菜 | 上尾 | 平成 |
| 芦田 | 柳田 | 宮山 | 小四 | 柏野 | 河野 | 岩田 | 小松 | 丸田 | 須永 | 澤田 | 保田 | 池田  | 大井 | 雨宮 | 川崎 | 清水 | 道上 | 道端 | 黒澤 | 九郷 | 藤田 | 郷農 | 三次 | 小松 | 与那 | 山本 | 田村 | 柳本 | 木村 | 松尾 | 大黒 | 寺澤 | 三井 | 薄井 | 名取 |
| 眞子 | 梨華 | 恭佳 | 小四 | に  | 敦也 | 夏実 | 姫野 | 柚香 | 莉世 | 侑来 | 結里 | あずさ | 泰地 | 美伶 | 乃華 | 桜良 | 蓮  | 柚  | 桃花 | 桃香 | 恵結 | 桃子 | 芽依 | 華  | 舞  | 正  | 海  | 利  | 朋花 | 青空 | かの | 美海 | 光悠 | 愛莉 | 柚香 |



英二	星	【小一】	秀雪	蓮田	中野	華雪	光丘	【小二】	玄黙	皓花	ひま	華雪	蔵	和	霞墨	秀雪	千曲	練馬	瑞祥	往郷	北府	杉月	花蓮	【小三】	泉華	上尾	若松	高風	晴美	青雲	玄黙	綾華	神奈	宝春	霞墨
小野	真砂	吉村	伊藤	原島	東本	木村	井上	前谷	上木	上木	小口	石坂	牧野	仁坂	尾鷲	岡井	春日	山崎	稲元	片桐	小島	増田	山内	平居	佐藤	猪俣	三谷	吉岡	遠藤	池田	富井	古屋	瀬戸	小林	
圭翔	海聖	優来	彩愛	朱璃	紗英	花音	紗綾	元稀	日香	遙花	美穂	朱音	美貴	日向	優奈	一郎	伶	より	大智	あこ	あこ	あこ	琴香	なみ	理世	結月	大和	心花	詩朋	れいあ	のこ	すず菜	葵	百花	

おもて人向を取清すものケ三ッ程  
一ッは文字であり、一ッは芸術であり  
一ッは宗教と云ふものをあろふ。 1947年

心がこもった言葉には、深い  
悲しみにいる人の心を動かす  
不思議な力がある。 澤田中二四段  
鹿野未来

心がこも。た言葉には、深い  
悲しみにいる人の心を動かす  
不思議な力がある。 大家中二七段  
木村遥

友達の家遊びに行きました。  
た。古くて大きな柱時計が  
ありました。 鎌馬五五津二四段  
鹿野実咲

ひっそりとしずかな古池に  
かえるがとびこむ水の音  
が聞こえた。 光山五十四段  
河森実乃

ひっそりとしずかな古池に  
かえるがとびこむ水の音  
が聞こえた。 吉之 三三  
金井喜か

土の中から、はな  
の小さなめがでて  
きました。

おもて人向を取清すものケ三ッ程  
一ッは文字であり、一ッは芸術であり  
一ッは宗教と云ふものをあろふ。 1947年

心がこも。た言葉には、深い  
悲しみにいる人の心を動かす  
不思議な力がある。 保徳中三七段  
小倉英

友達の家遊びに行きました。  
た。古くて大きな柱時計が  
ありました。 原山三二四段  
原山留梨

友達の家遊びに行きました。  
た。古くて大きな柱時計が  
ありました。 徳島六三六段  
鹿島初菜

ひっそりとしずかな古池に  
かえるがとびこむ水の音  
が聞こえた。 中三ノリ  
森生

ひっそりとしずかな古池に  
かえるがとびこむ水の音  
が聞こえた。 徳島三三  
佐藤聖輝

土の中から、はな  
の小さなめがでて  
きました。

仮名作品は、筆の進む方向と圧  
と弾力により、かもし出される  
リズムが魅力である。 後藤正美  
照美

心がこもった言葉には、深い  
悲しみにいる人の心を動かす  
不思議な力がある。 霞屋中二五  
山田愛

友達の家遊びに行きました。  
た。古くて大きな柱時計が  
ありました。 山日比夏  
夏

友達の家遊びに行きました。  
た。古くて大きな柱時計が  
ありました。 藤田六三  
佐々木春奈

ひっそりとしずかな古池に  
かえるがとびこむ水の音  
が聞こえた。 中央四三  
麻生

ひっそりとしずかな古池に  
かえるがとびこむ水の音  
が聞こえた。 三浦三三  
三浦紗空

土の中から、はな  
の小さなめがでて  
きました。

心がこもった言葉には、深い  
悲しみにいる人の心を動かす  
不思議な力がある。 高社中二五  
飯島采乃

心がこも。た言葉には、深い  
悲しみにいる人の心を動かす  
不思議な力がある。 中三西本真奈

友達の家遊びに行きました。  
た。古くて大きな柱時計が  
ありました。 有原中六  
大野里紗

ひっそりとしずかな古池に  
かえるがとびこむ水の音  
が聞こえた。 石里中二五  
石里文子

〔硬筆〕

- 【一般】 石峯 金澤 瑤月 大坂 佐藤 玉雲 綾華 島沢 照美
- 【中学】 高社 飯島 菜々 凛心 鹿野 未来 珠悠 小倉 葵 霞墨 山田 愛 有象 岡本 真奈 大象 木村 遙
- 【小五・六】 原山 瑠梨 瑞祥 日比 夏凜
- 【小一・二】 一葉 三浦 紗空 若宮 名東 谷口 清水 富士 鹿兒島哩灯 明里 咲磨

- 有虹 大野 里紗 練馬 岩野 実咲 倭 鹿島 初菜 華雪 佐々木 春奈
- 【小三・四】 杉 石黒 蒼葉 光丘 河森 実乃 山愛 ソフィ さら 中央 麻生 恰那 書之 金井 春珂 雅 佐々木 響輝















Table with multiple rows of names and characters, organized in columns. The text includes names like 横大, 松小, 中備, 高柳, etc., and various symbols like circles and stars indicating specific attributes or grades.

□は写真版(昇級しない) ○は昇級(1階級昇級する) ☆は秀作(同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。)





・愛心・西・上尾・朝日・飯田・飯山・荷雲社・一絵・一葉・伊奈・宇土・映心・往郷・大泉・大阪・大田・大流・華雪・神奈川・霞墨

Table with columns for school names (e.g., 小・中学校の部), names of members, and their performance levels (e.g., 準一, 特一, 初段). Includes a list of names at the top and a grid of performance data below.

□は写真版(昇級しない) ○は昇級(1階級昇級する) ☆は秀作(同段目で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。)



Table with multiple columns and rows containing names, grades, and other identifiers. The table is organized into several sections, likely representing different clubs or groups. Each entry includes a name, a grade level (e.g., 初段, 二段), and sometimes a club name in parentheses. The text is dense and follows a specific layout for such a directory.

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。





Table with multiple rows and columns containing names, grades, and symbols. The table is organized into sections by grade level (e.g., 準準, 準, 初, 特) and includes various symbols like circles and triangles. The names listed are members of the organization, such as 真藤, 藤田, 伊藤, etc.

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。

平成・宝春・房風会・星・前原・松戸・三池・水代・美苑・みゆ・美菜・美那・湊・みなみ野・峰・宮川・宮地・雅・御代田・名東・めぐみ・杜の会・八潮・倭・有家・有象虹・有徳・優生・石文・横浜第二・好野・李光・龍文

Main table containing names and their corresponding grades/levels. The table is organized into columns and rows, with names written in kanji and their associated grades in numbers and symbols. Some names are highlighted with red text or symbols.





第58回

# 書象展

## 特別企画 俊英選抜五人展

### 特別コーナー 第50回全国学生書道展 高田墨山遺墨展示



会 期：2019. 6. 13(木)～6. 23(日)  
 午前10時～午後6時 休館日6.18(火) 入場は午後5時30分まで  
 会 場：国立新美術館 2階C、D展示室  
 〒106-8558 東京都港区六本木7-22-2  
 TEL. 03-6812-9921  
 主 催：書 象 会  
 後 援：読 売 新 聞 社  
 公益社団法人 全日本書道連盟

会期中、ギャラリートーク・全国学生展・講評会・支部長講習会・実技講習会を予定しています。多くのご参加をお待ちしています。詳しくは、P21を参照下さい。

定価六〇〇円 送料八二円

書象会便り

◆謙慎書道会総会

恒例の謙慎書道会総会が五月二十五日(土)上野精養軒において開催されました。本会からの出席者は次の通りです。

- 田中節山 市澤静山 内藤望山
- 新井雄峰 浦山蒼樹 恩田静月
- 来司信博 小室墨汀 杉山窓影
- 竹内墨洋 田中珠光 露崎玄峯
- 寺尾碩雲 中内真意 仲島秀峰
- 早川雅節 藤森大節 牧野蘭庭
- 宮本耕成 山口啓山 柳澤玄嶽
- 横田小泉 吉田節城

◆春季昇段級試験・師範・準師範・特待生試験審査終了

五月二十一日(火)に締め切られた標記試験の審査が、五月二十六日(日)に終了いたしました。当審査委員の厳正な審査により、各位の昇格などが決定されました。

◆虎井曉鐘先生のお別れの会

六月二日(日)、上田高砂殿にて故虎井曉鐘先生の「お別れの会」が執り行われました。多くの参加者が献花に訪れ故人を偲びました。

《書展予告》

☆茨城の美術セレクション

☆茨城の美術セレクション  
 県展移動展覧会  
 会 期 六月二十五日(火)～七月七日(日)  
 会 場 茨城県立つくば美術館  
 出品者 高瀬霞山(本会関係)

☆桜筆会書作展

☆桜筆会書作展  
 会 期 六月二十八日(金)～三十日(日)  
 会 場 文京シビックセンター  
 出品者 蕪木珠紅(本会関係)  
 一階展示室A・B

《書展報告》

☆第46回日本の書展茨城展  
 会 期 四月十三日(土)～十八日(木)  
 会 場 茨城県文化センター(水戸市)  
 出品者 高瀬霞山 高瀬秀琴  
 (本会関係)

☆第40回土浦美術協会展

☆第40回土浦美術協会展  
 会 期 五月十日(金)～十九日(日)  
 会 場 土浦市美術館(アルカス)  
 出品者 高瀬霞山(本会関係)

☆第48回茨城県文化団体連合美術展

☆第48回茨城県文化団体連合美術展  
 会 期 六月一日(土)～九日(日)  
 会 場 茨城県文化センター(水戸市)  
 出品者 高瀬霞山

氏名	発行人 (有) 書 象
	代表 上 條 節 夫
	東京都武蔵野市吉祥寺北町四一三六
	郵便番号 180-0001 電話 〇四二(五三)九七四三
	振替口座 〇〇一九〇一七二二五六九一
	振替名義 (有) 書 象
	印刷所 株式会社 リンクス